

第 1 回起草部会（会議後の意見提出を含む）でのご意見と対応方法（案）

1 中学生保護者

設問番号	ご意見	対応方法
中学・親問 4	「※地域は……」の配置は、後ろ揃えではなく、前揃えの方が見落としが少ないのではないかと。	前揃えとする。
中学・親問 7	「ご両親とお子さん以外に」の「お子さん」を「宛名のお子さん」とすべきではないかと。	「宛名のお子さん」に修正する。
中学・親問 9	「身の回りの世話」が何を指しているかが分かりにくい。また、父母等で役割分担をしている場合に回答しづらい。	平成 20 年度調査、今回の修学前児童及び小学生保護者向け調査と文言を合わせることにし、現状のままとする。
中学・親問 12	子供の成長と共に学費等の金銭面の負担が大きな気掛かりになっているのが現状なので、選択肢に、「進学などへの金銭的問題」を入れてはどうか。	現状のままとする。 問 27 の「子育てしやすい社会に必要なもの」の設問で、選択肢 2 として「経済的援助」を設けており、全般的な傾向は把握できるため。
中学・親問 16～17	ipod でもインターネットや LINE ができるので、機器に加えるべきではないかと。また、メールよりも現在は LINE が主流なので、その表記も必要である。	メールのみ表記している箇所については、LINE を含めた文言に修正する。 なお、ipod の表記については、他の同様の機器の現状を踏まえ、総合的に判断したうえで文言を検討する。
中学・親問 16 - 1	選択肢に「7. わからない」を入れた方がよいと思う。子供本人の調査の論議でもあった点ですが、子供の口座から引き落としとして、その口座を子供が管理する場合には親は、やはり使用金額はわかりません。	「7. わからない」を追記する。
中学・親問 17	現在の設問文では、携帯電話等の機器がメインなのか、インターネットの利用の有無がメインなのか分かりにくい。	設問文を次のとおり修正する。 「お子さんはインターネット（携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機器等により）を利用していますか」
中学・親問 17-2	「有害サイト」とは、具体的に何を指すのか。また、質問の意図が分かりにくい。	本質問は、インターネット利用において、子どもたちの成長に影響を及ぼすサイトの利用状況を把握するもので、調査結果を元に、今後のイ

		<p>ンターネット利用に関する教育について検討するものである。</p> <p>なお、設問文を次のとおり改める。</p> <p>「有害サイト（出会い系サイトやアダルトサイト等）にアクセスして被害にあったことがあるか」</p>
中学・親問 17 - 2	アンケートを利用して救済方法を周知するような設問を設けてはどうか。	<p>保護者向けには新規の設問は設けない。</p> <p>なお、中学生や青少年に対して、インターネット利用にあたっての危険回避行動の設問を新たに設けることとする。</p>
中学・親問 17-6	<p>「携帯電話やスマートフォン、パソコン」は別々にすべきではないか。</p> <p>また、「フィルタリング」の定義を記載すべきではないか。</p> <p>※スマートフォン用のフィルタリングソフトの有無について、会議終了後に事務局で調査した結果、存在することが判明しました。</p>	<p>選択肢を次のとおり修正する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話・スマートフォンは設定されている 2. パソコンは設定されている 3. 携帯電話・スマートフォン、パソコンとも設定されている 4. いずれも設定されていない 5. わからない <p>フィルタリングの定義を追加する。</p> <p>【フィルタリングとは】</p> <p>インターネット上の有害なサイトを見られないようにするための設定、いわゆる「有害サイトへのアクセス制限サービス」のこと。</p>
中学・親問 17 - 7	保護者にとっては、勉強や家庭生活がそっちのけになるという点が心配だと思うので、その選択肢があると良い。	<p>選択肢として、「勉強がおろそかになったり、家族とのコミュニケーションが少なくなる」を追加する。</p>
中学・親問 22 以下	子育てと仕事への関わり方について、シングル世帯は対象にしているように感じるので、配慮が必要ではないか。	<p>設問に、「母親又は父親のみの場合、該当する欄だけ記載してください」を追記する。</p>
中学・親問 25	不安なことの内容を質問する前に、不安の有無を質問するべきではないか。	<p>問 25 の前に、不安の有無を問う設問を追加する。</p>
中学・親問 25～26	設問では「あなた自身」について尋ねているようであるが、「子どもを育てる上での安心・安全」という視点でなくてもいいのか。あなた自身のことについては、特に「保	<p>設問の文言を次のとおり修正する。</p> <p>問 25 「あなたは、外出するとき、……」から、「あなたは、子どもが外出するとき、……」に修正する。</p> <p>問 26 「安心して……」から「子どもが安心して</p>

	護者」を対象とするアンケートで尋ねなくても、「若者」対象の方でカバーされているように思う。	……」に修正する。
中学・親問 27	子どもに対して周囲の冷たい視線を感じる時がある。「子育てしやすい」という実感は、普段生活している時に「子供を温かく受け入れてもらっている」という安心感があってこそ得られるのではないか。そういう視点を選択肢に盛り込んでほしい。	選択肢として、「子どもや子育て中の親に対する社会の温かい目」を新たに設けることとする。

2 中学生本人

設問番号	ご意見	対応方法
中学・子問 5	「※地域は・・・」の配置は、後ろ揃えではなく、前揃えの方が見落としが少ないのではいか。	前揃えとする。
中学・子問 9	いっしょに住んでいる大人に、してほしいと思うことがありますか、と言う設問は、選択肢にあわせて「してほしくない」を加筆すべきではないか。	質問文を「いっしょに住んでいる大人に、してほしい（してほしくない）と思うことがありますか」に修正する。
中学・子問 17	選択肢は複数起こりうることで、どれが一番と決めにくいので、複数回答としてはどうか。	設問を「一番つらい」から「つらい」に修正したうえで、○は3つまでとする。
中学・子問 21～22	ipod でもインターネットやLINEができるので、機器に加えるべきではないか。また、メールよりも現在はLINEが主流なので、その表記も必要である。	メールのみ表記している箇所については、LINEを含めた文言に修正する。 なお、ipodの表記については、他の同様の機器の現状を踏まえ、総合的に判断したうえで文言を検討する。
中学・子問 21-1	利用料金について、「知らない」と答えた子供に対しても「(調べて教えてください)」などと注意書きをするなどして、使用料を尋ねてはどうか。使用料について関心を持たせるという目的も果たせると思う。	「7. わからない」を追記することにより、対応する。

設問番号	ご意見	対応方法
中学・子 問 22 - 6	この設問に対しては、「10. その他」と記載させる回答項目はあり得ないので、設問を変えるか、「10. ない」に変更する必要があるのでは。	選択肢として「11. 特にない」を追加する。
中学・子 問 25	「1. 参加している」「2. ときどき参加している」の区別が分かりにくいので、設問をもう少し丁寧にする必要があります。また、「1. 参加している」「2. ときどき参加している」の区別は運営参加の場合は区別不要、見に行くことが参加に含まれる場合は回数で分けたらどうか。 あるいは、青少年の調査票の問 20 と 21 をそのまま使ってもよいのではないか。	主体的にイベントに参加（運営）するだけでなく、単に「見に行く」ことも含めた数字として把握したい。 なお、設問の文言は、「……区や地域のイベント（地域のお祭りなど）に参加（見に行くだけを含む）したことがありますか。」と修正する。
中学・子 問 26	放課後の過ごし方として、「4. 学校の校庭や体育館」とあるが、中学生の場合はないはずなので不要である。なお、上記以外の校内にいることはあり得る。	「4. 学校内の図書室や自習室等で過ごす」に修正する。
中学・子 問 30、31	回答のしやすさの観点より、問 30 と問 31 を入れ替えてはどうか。	問 30 と問 31 を入れ替える。
中学・子 問 32	問 32 は中学生本人には回答しづらいので、削除したほうがよいのではないか。	設問を削除する。 なお、問 28～問 31 の設問について、小見出し（タイトル）や設問順などを再検討することとする。
	問 32 の質問よりも友人や家族とのコミュニケーションについての設問が必要ではないか。	友人や家族とのコミュニケーションに関する設問を新たに追加する。 なお、場所は、問 8 及び問 8 - 1 の設問を削除したうえで、置き換えることとする。
中学・子 問 33	不安なことの内容を質問する前に、不安の有無を質問するべきではないか。	問 33 の前に、不安の有無を問う質問を追加する。

設問番号	ご意見	対応方法
中学・子 問 34	<p>選択肢は「個」の意識だけに着目しているが、コミュニティの視点も必要である。信頼できるコミュニティが見守ることにより、安全安心が保障されるという一面は重要である。</p> <p>コミュニティに正面から着目した選択肢がなければそういったニーズを拾うことができないのではないか。</p>	<p>選択肢として、「子どもや子育て中の親に対する社会の温かい目」を新たに設けることとする。</p>
中学・子 問 35	<p>選択肢の順番を変える必要がある。また、これらの経験の有無を聞いても、正直に回答するとは限らない。経験の有無は不要なのではないか。</p>	<p>選択肢の順番を入れ替える。</p> <p>なお、経験の有無については、他自治体の調査では「したことがある」の回答も得られている。経験の有無と、いけないと思う程度を併せて質問することは有効であると考えている。</p>
中学・子 問 36	<p>選択肢は周囲の大人の取り組みについてだけを取り上げているが、中学生本人の意識を聞いていないことに少なからず違和感を覚える。まず、本人の自覚を聞いたうえで周囲の大人のことに言及してはどうか。</p>	<p>新たに設問を設けることはしないが、問 35 の選択肢として、新たに「相手を直接いじめたり、心を傷つける」を追加することにより対応する。</p>
中学・子 問 36	<p>選択肢「5. 子どもの権利についての普及・啓発……」に関し、権利は「尊厳」から生じるもので、尊厳についての記述がないと、枝葉だけが話題になって焦点がぼんやりしてしまうように感じる。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

3 青少年

設問番号	ご意見	対応方法
青少年 問 6	<p>「※地域は……」の配置は、後ろ揃えではなく、前揃えの方が見落としが少ないのではないか。</p>	<p>前揃えとする。</p>
青少年 問 10	<p>「家族に、してほしいと思うこと」は選択肢にあわせて「してほしくない」を加筆すべきはないか。</p>	<p>質問文を「家族に、してほしい（してほしくない）と思うことがありますか」と修正する。</p>

設問番号	ご意見	対応方法
青少年 問 14	<p>相談情報提供施設に関する設問は不要ではないか。就職に関わる施設が大半で、高卒の場合は、就職についても学校が対応することが原則なので、設問の施設を知っている高校生は少ないと思われるので、その調査をあえてする必要性はないと思う。</p> <p>なお、設問を設ける必要があるのであれば、「6. どこも知らない」を入れるべきである。</p>	<p>相談等の実績はあるため、設問は引き続き設ける。</p> <p>なお、選択肢として「6. どこも知らない」を追加する。</p>
青少年 問 18～19	<p>ipod でもインターネットやLINE ができるので、機器に加えるべきではないか。また、メールよりも現在はLINE が主流なので、その表記も必要である。</p>	<p>メールのみ表記している箇所については、LINE を含めた文言に修正する。</p> <p>なお、ipod の表記については、他の同様の機器の現状を踏まえ、総合的に判断したうえで文言を検討する。</p>
青少年 問 18-1	<p>選択肢に「分からない」を追加すべきではないか。</p>	<p>「7. わからない」を追加する。</p>
青少年 問 21	<p>中学生と同様、「4. 校庭や体育館」に高校生がフリーでいることはできず、今どきは、「自習室、図書室、多目的広場、コミュニティ室」などで、勉強したりくつろいだりしているものと思われる。校内に留まるのかを問うのであれば、「4. 図書室自習室他の校内で過ごす」に改めるのが良い。</p>	<p>「4. 学校内の図書室や自習室等で過ごす」に修正する。</p>
青少年 問 23	<p>この質問は、本人の考えよりも、一般論として回答するのではないか。</p>	<p>修正なし。</p> <p>一般論であっても、回答は対象者の考えであるため、このまま質問する。</p>
青少年 問 23	<p>選択肢は周囲の大人の取り組みについてだけを取り上げているが、青少年本人の意識を聞いていないことに少なからず違和感を覚える。まず、本人の自覚を聞いたうえで周囲の大人のことに言及してはどうか。</p>	<p>新たに設問を設けることはしないが、問 32 の選択肢として、新たに「相手を直接いじめたり、心を傷つける」を追加することにより対応する。</p> <p>なお、問 23 の設問は、問 32 の次に移動することとする。</p>
青少年 問 26 - 1	<p>職業選択について、職業選択の基準が1つであることは通常あり得ないので、○は1つだけではなく、複数回答にすべきではないか。</p>	<p>設問の文言を「最も重視すること」から「重視すること」に修正したうえで、○は3つまでとする。</p>

設問番号	ご意見	対応方法
青少年 問 31	<p>選択肢は「個」の意識だけに着目しているが、コミュニティの視点も必要である。信頼できるコミュニティが見守ることにより、安全安心が保障されるという一面は重要である。</p> <p>コミュニティに正面から着目した選択肢がなければそういったニーズを拾うことができないのでは。</p>	<p>選択肢として、「子どもや子育て中の親に対する社会の温かい目」を新たに設けることとする。</p>
青少年 問 32	<p>選択肢の順番を変える必要がある。また、これらの経験の有無を聞いても、正直に回答するとは限らない。経験の有無は不要なのではないか。</p>	<p>選択肢の順番を入れ替える。</p> <p>なお、経験の有無については、他自治体の調査では「したことがある」の回答も得られている。経験の有無といけないと思う程度を併せて質問することは有効であると考ええる。</p>

4 若者

設問番号	ご意見	対応方法
若者 問 5	<p>「※地域は……」の配置は、後ろ揃えではなく、前揃えの方が見落としが少ないのではいか。</p>	<p>前揃えとする。</p>
若者 問 10	<p>「仕事と生活のバランス」の、「4. どちらかといえば仕事や『自分の活動』……」の『自分の活動』の意味が不明である。仕事や家庭生活も「自分の活動」ではないか。「趣味やボランティア」という意味か？</p>	<p>「4. どちらかといえば、仕事よりも家庭生活を優先」に修正する。</p>
若者 問 17 問 18	<p>選択肢の中に「1. 男女とも仕事をし、家事・育児は男女で平等に分担するのがよい」とあるが、「平等」という表現は適当なのか。</p> <p>一時期多かった、お父さんもオムツ交換を平等にするという考えに加え、最近では、それぞれの得意なことを分担するという考えもある。</p>	<p>「平等」の文言を削除する。</p>
若者 問 18	<p>結婚している人が対象の項目なので、問 15 の直後に移動させた方がわかりやすいのでは。</p>	<p>問 17 及び問 18 は、男女の役割分担について聞いているため、現状のままとする。</p>

設問番号	ご意見	対応方法
若者 問 19 - 1	選択肢「2. 子どもを持ちたいとは思わない」に○をした人は、問 19-3 にとぶ形に修正すること。現在は、「次は問 19-1 へ」になっている。	「次は問 19 - 3 へ」に修正する。
若者 問 19 - 2	選択肢として、「8. 子どもを育てることで自分も成長したいから」を追加してはどうか。	「8. 子どもを育てることで自分も成長したいから」を追加するとともに、「9. その他」とする。
若者 問 20	「理想の子どもの数」については、なぜ、現在子どもがいる人だけに設問するのか。サンプル数も少ないので、全員に聞くべきではないか。集計時に独身、既婚、子供の有無別にクロス集計すればよいだけではないか。	「現在子どもはいないが、将来子どもを持ちたい」と答えた方にも聞くこととする。なお、「現在子どもはいないし、かつ将来も持ちたいとは思わない」と答えた方に聞くことは適当ではないので、全員に聞くことはしない。
若者 問 20 - 1	子どもに対して周囲の冷たい視線を感じる時がある。「子供を温かく受け入れてもらっている」という安心感が大切なので、そういう視点を選択肢に盛り込んでほしい。	選択肢として、「子どもや子育て中の親に対し、社会が冷たいから」を新たに設けることとする。
若者 問 21	問 20 - 1 に同じ。	選択肢として、「子どもや子育て中の親に対する社会の温かい目」を新たに設けることとする。
若者 問 25	相談施設には、「6. どこも知らない」を入れるべきである。	「6. どこも知らない」を追加する。
若者 問 25	問 23～問 24 では子育てに社会の一員として参画しているかを尋ねているのに対して、問 25 は自身の悩み相談に関する設問であり、違和感がある。むしろ問 7 以下「日常生活について」のところに移動した方が良いのではないか。	問 7 以下「日常生活について」の位置に移動するとともに、就労していない方についての設問を新たに設けることとする。

設問番号	ご意見	対応方法
若者 その他	<p>若者の結婚への意識の低さや出産出来ない現状はワーキングプアや正規就労に就けない等の社会状況にあるので、もう少し若者の就労についての設問があっても良いのではないかと。</p> <p>問8と問25を繋がるように入れ替え、接続出来るような間を間に一つ入れてはどうか。</p> <p>例) 正規就労者以外の方に正規就労を希望しているか</p> <p>例) 支援や相談窓口があれば利用したいか、など</p>	同上
若者 その他	就労していない若者に対して、就労支援について尋ねてみてはどうか。	
若者 その他	この年代ほど、地域の主になる世代なので、「コミュニケーション」に関する設問を新規に設けるべきである。	問24「地域で子どもにかかわる活動をしていますか」の文言をより幅広い活動に修正する。また、コミュニケーションに関する設問を新たに設ける。
若者 その他	インターネットの利用状況を調査するため、青少年調査の問19、問19-1、問19-4、問19-5、問19-6などを追加してはどうか。	中学生本人や青少年と異なり、若者については設問を設ける必要性が少ないため、現状のままとする。
若者 その他	<p>心理的な指標として、内閣府の「国民生活に関する世論調査」にあるような「充実感」を尋ねてはどうか。</p> <p>例えば、</p> <p>問 あなたは、日常生活の中で、どの程度充実感を感じていますか。</p> <p>「1. 十分充実感を感じている」「2. まあ充実感を感じている」「3. どちらともいえない」「4. あまり充実感を感じていない」「5. 全く充実感を感じていない」</p>	<p>問11「あなたは、毎日の生活が楽しいですか」の設問と内容が概ね同じであるため、現状のままとする。</p> <p>なお、計画作成にあたっては、適宜、左記の調査結果も参考にすることとする。</p>